

# 第44期 (令和3年度)

## 事業報告書

### 【経営理念】

周りの人の幸せを願うところに  
自らの幸せもある



Jukokai

社会福祉法人

寿 光 会

## 目 次

1	寿光会沿革	．．．．	3P	4P
2	法人概要	．．．．	5P	
3	事業報告書 挨拶	．．．．	6P	
4	業績ハイライト 3ヵ年比較	．．．．	7P	
5	拠点（同一敷地）別3ヵ年比較	．．．．	8P	
6	事業別セグメント（特別養護老人ホーム 短期入所介護）	．．．．	9P	
7	事業別セグメント（通所介護・訪問介護）	．．．．	10P	
8	事業別セグメント（認知症対応型共同生活介護 診療所及びその他の事業）	．．	11P	
9	令和3年度各事業稼働状況一覧	．．．．	12P	
10	地域貢献事業	．．．．	13P	
11	トピックス 今後の課題	．．．．	14P	
12	職員構成状況	．．．．	15P	

## 法人沿革

年/月/日

- S53/2/22 社会福祉法人寿光会 法人設立 **初代理事長：今川 光子**
- S53/4/1 特別養護老人ホーム寿光園（定員70名）開設。  
法人の主たる事務所を八尾市大字楽音寺318番地に置く
- S55/11 特別養護老人ホーム柏原寿光園新築工事開始
- S55/11 八尾市デイサービスセンター寿光園新築工事開始
- S56/2/1 八尾市デイサービスセンター寿光園（定員25名）開設
- S56/8/1 特別養護老人ホーム柏原寿光園（定員50名）開設
- S59/10/29 八尾市第27次町名地番号改正により、寿光園の住所が、八尾市大字楽音寺318番地から八尾市楽音寺二丁目125番地に変更となる（法人の事務所住所も同様に変更）
- S63/6/13 設立時の理事長 今川光子から、理事長 板倉直明に変更 **2代目理事長：板倉 直明**
- H2/4/1 寿光園で八尾市の委託事業、訪問入浴・ホームヘルパー派遣事業・A型デイサービス開始
- H3/4/1 寿光園で、在宅サービス供給ステーション事業（大阪府）・在宅介護支援センター事業開始
- H4/4/1 八尾市ショートステイ事業を受託し、寿光園・柏原寿光園で開始
- H7/11 柏原在宅サービス供給ステーションの新地工事開始
- H8/4/1 柏原寿光園で、在宅サービス供給ステーション・A型デイサービス及び身体障害者デイサービス事業開始
- H12/4/1 グループホーム寿光園（定員9名）開設  
寿光園拠点・柏原寿光園拠点で介護保険事業を開始制度に則り両拠点で居宅介護支援事業所も開設
- H18/6/1 今川デイサービスセンターを医療法人銚生会から買取。  
寿光会今川デイサービスセンターとして開始
- H19/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター寿光園」開設
- H20/3/31 2代目理事長：板倉 直明 療養のため退任
- H20/4/8 臨時役員会により3代目理事長に三木 明就任 **3代目理事長：三木 明**
- H22/4/1 寿光園新館増築により個室ユニットケア開始。 寿光園訪問入浴・訪問給食事業廃止。
- H22/5/21 理事長三木 明から4代目理事長：板倉嘉孝に交代 **4代目理事長：板倉 嘉孝**
- H22/9 寿光園本館の改修工事で、ショートステイ事業を増床（6床から19床へ増床）
- H22/10 デイサービスセンター寿光園を、デイセンターの建物から寿光園本館の1階へ移転
- H23/4/1 柏原地域密着型高齢者施設「太寿」開設（寿光会で3番目の拠点となる）  
特別養護老人ホーム太寿29床（個室ユニットケア）  
グループホーム9床・ショートステイ太寿10床
- H26/4 寿光園の個室ユニット部分（16床）が地域密着型特養ホームに転換。従来型特養は54床となる。

- H27/3/1 八尾地域密着型高齢者施設「楽寿」開設（寿光会で4番目の拠点となる）  
 （特別養護老人ホーム楽寿29床（個室ユニット）・ショートステイ楽寿10床及び  
 デイサービスセンター楽寿定員30名）  
 （今川デイサービスセンター定員30名を「楽寿」に移転、特別養護老人ホーム楽寿に併設  
 今川デイの建物は、医療法人幸晴会に売却）  
 法人の主たる事務所を、八尾市神宮寺一丁目154番地（楽寿内）に移転
- H28/3/31 柏原寿光園拠点の福祉用具貸与事業廃止
- H28/12/1 柏原寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、  
 定員が25名から18名になる
- H29/4/1 地域包括支援センター事業「八尾市地域包括支援センター楽寿」開設
- H29/6/21 理事長板倉嘉孝から5代目理事長：森田浩稔に交代 **5代目理事長：森田 浩稔**
- H30/3/1 柏原寿光園を建替え整備、安堂から柏原市高井田に新築移転し開設。特養で10床増床。  
 特別養護老人ホーム柏寿（小規模従来型30床）・ショートステイ柏寿（多床室型10床）  
 特別養護老人ホーム高寿（小規模ユニット型30室）  
 ショートステイ高寿（ユニット型個室10室）  
 地域密着型デイサービスセンター高寿定員18名、身体障害者デイ 定員5名  
 柏原寿光園ホームヘルプセンター・柏原ケアプランセンター寿光園
- H30/4/1 柏原寿光園拠点の建物内（4階）に住宅型有料老人ホーム「安寿」18室を開設
- H31/4/1 寿光園のショートステイ19床の内、6床を従来型特養ホームに転換。  
 従来型特養の定員が54床から60床に変更
- H31/4/1 寿光園デイサービスセンターを、地域密着型デイサービスセンターに変更し、  
 定員が20名から18名に。
- R3/4/1 元柏原寿光園（安堂）の建物を解体し、  
 「グループホーム令寿の杜」（2ユニット18床）を新築、開設。

## 法人概況



法人の名称	社会福祉法人寿光会
理事長	森田 浩 稔
主たる事務所の住所	大阪府八尾市神宮寺1丁目154番地
主たる事務所の電話番号	072-943-3602
法人のホームページアドレス	<a href="http://jyukokai.org/">http://jyukokai.org/</a>
法人の設立認可年月日	昭和53年2月8日
法人の設立登記年月日	昭和53年2月22日
評議員数	8名
理事数	7名
監事数	2名
職員総数	320名 令和4年3月31日現在

## 【経営理念】 周りの人の幸せを願うところに、 自らの幸せもある。

人は加齢と共に心身の機能が低下し、老いを全うするには様々な支え、援助が必要となります。その援助をする人が、どんなにすばらしい知識・技術を持ち合わせていても、利用者の心を傷つけるようなことがあっては、生活援助も形だけのものになってしまうでしょう。

人間ゆえに持っている心の部分や、気持ちの動きを常に胸に留め、利用者に合わせてより良い人間関係の中で、職員として（仕事として＝プロとして）、ケア方針に沿った援助を行なっていきたいと願っています。

【ケア目標】 入居者・利用者のそれぞれの生活スタイルが尊重され、主体的にその人らしく、心穏やかに暮らせる場の創造を目指します。

### 【ケア方針】

- 1) 入居者・利用者及びご家族の意向にそった支援に努めます。
- 2) 残存機能を生かし、自律心を尊重した支援に努めます。
- 3) 居宅介護の継続性と地域との関係を重視した支援に努めます。
- 4) 精神的・身体的拘束のない介護に徹します。
- 5) 個々の考え方が尊重され、共通ルールは必要最小限にとどめるように努めます。
- 6) 職員が相互に協力して、チームケアに取り組みます。

### 【職員モットー】

自らが入居。利用したいと思う施設の創造



# 第44期 令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日～令和4年3月31日

社会福祉法人 寿光会

令和3年度の社会福祉法人寿光会は、ご利用者・ご家族・関係諸機関等の皆様のご支援とご高配を賜って、大過なく1年間運営することができ御礼申し上げます。

令和3年度は、年度開始とともに、当法人にとって5番目の拠点となる『グループホーム令寿の杜』が開所しました。「令寿の杜」は、柏原寿光園拠点の移転前の設置場所であった柏原市大字安堂の地に建設されました。2ユニット18名定員のグループホーム単体の拠点として開所し、4月中旬から順次入居者を受け入れて、9月中旬に1ユニット（9名）が満室となりました。しかし、その後入居希望者はいるものの職員採用が思うように進まず、年度末まで1ユニットだけの運営が続きしました。

「令寿の杜」だけに限らず、他の拠点でも職員（特に介護職員）の採用は困難を極めました。その対策として期待し、前年度から準備を進めていた「技能実習生（介護）」の受入が、コロナ禍による外国人の入国停止措置等のために手続きが全く進まなくなっており、保留状態になりました。新型コロナウイルス感染症に関しては、法人内の各拠点で予防対策をしっかりと実行するとともに、入居者の方々・職員のワクチン接種も4月から7月にかけて1回目と2回目、年明けの1月から2月にかけて3回目の接種を実施。7月頃からは職員の定期的なPCR検査も実施して予防に努めました。しかし、令和4年が明けて全国で感染拡大した第6波の中で、1月15日に寿光園で入居者の最初の感染が判明し、その後職員や他の入居者の陽性も判明して、クラスターとなりました。結果、入居者25名、職員25名の感染者数となり、2月末ようやく収束宣言を出すことができました。他の拠点では職員が1～3名感染しましたが、入居者の感染者は発生しませんでした。令和3年度は、こうしたコロナ禍のためにほぼ1年を通じて特養の面会制限が続き、窓越しとリモートの面会となって、入居者やご家族にご不便をおかけしました。

また、平成29年度から社会福祉法人に義務付けられた地域貢献事業では、当法人で「こども食堂」や「学習支援」等の事業を進めてきましたが、コロナ禍のために集合・対面での事業が実施できず、令和2年の2月以後ほぼ2年間休止状態が続きました。感染状況がなかなか収束しない状況で再開の目途が立たず、令和4年の年明けからコロナ禍の中でも実施できる事業を計画することとなり、「宅配フードパントリー事業」（個別登録者の自宅に食料品等を配送する事業）を次年度から実施すべく準備を進めました。

事業の運営状況は、特養等施設系サービスの部門では、新型コロナウイルス感染のクラスターが発生した寿光園拠点以外、前年度よりも平均稼働率が上昇しました。それは、大阪府下で年度内を通じて長期間新型コロナウイルス感染症による病院の病床利用率が逼迫して特養からの入院が減少し、施設内での健康管理もより細心になったことで、入退居も例年より減少したことによるのではないかと考えられます。ただ、経営的には予防対策等で消耗品や備品の使用量・金額等が増大したこと、設備の老朽化による修繕費が高んだこと等で収支に影響を与えました。

在宅系のサービスも同様に、感染症の予防対策をしっかりと行いながら運営を続けましたが、利用者の自主的な利用控えや、ショートステイの新規利用者の制限などの影響もあって、稼働率が下がった事業が多くありました。特に寿光園拠点のショートステイ事業は、クラスター発生中事業を中止したため稼働率が大きく下降して、収支状況も悪化しました。

## (1)業績ハイライト

### サービス活動収益

令和3年度の法人全体では、サービス活動収益は、わずかに増額となりました。

太寿、楽寿拠点で、前年度よりそれぞれ約1千万円ほど増収となったこと、新規に開設された令寿の杜の収益が加わったことで、寿光園で2千万円程、柏原寿光園で1千万円程減収となったものを相殺し、全体として微増となりました。

### サービス活動費用

令和3年度の法人全体では、サービス活動費用が、5千3百万余円の増額となりました。新設拠点の運営費が加わったことや、感染症の予防対策で使用する消耗品類の増加と高騰、施設の経年劣化による修繕費の増額、職員の定着を促進するための対策等人件費の増額などの要因が考えられます。

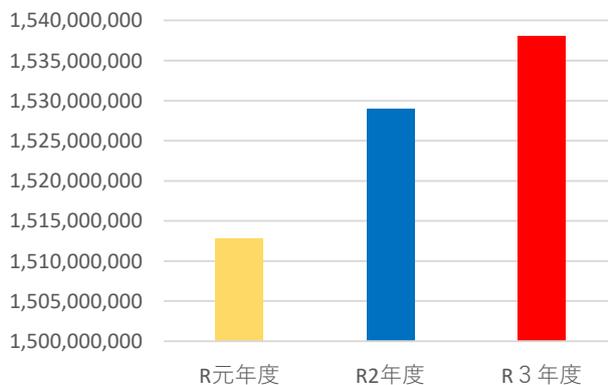
### サービス活動増減差額

令和3年度の法人全体では、サービス増減差額が、3割以上の減額となりました。

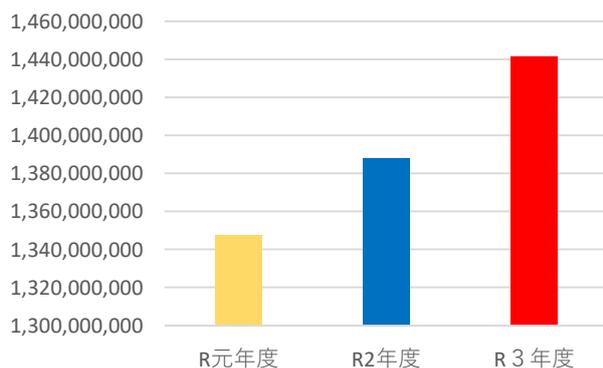
サービス活動収益が、わずかに増額となりましたが、サービス活動費用も大きく増額となったために、サービス増減差額が大幅に圧縮されることになりました。

寿光園拠点で活動収益が前年比2千万円以上減収となったこと、柏寿拠点以外のショート事業全て収支で赤字になったこと、安寿や寿光園・柏寿デイの不振による減収、令寿の杜が職員不足で年度末まで全面的に稼働できず、年間の収支がマイナスになったこと、感染症予防対策の経費や人件費増大等の要因が考えられます。

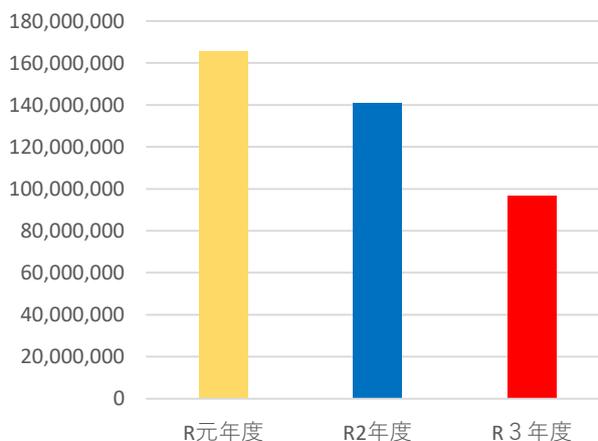
### 寿光会全体サービス活動収益



### 寿光会全体サービス活動費用



### 寿光会全体サービス増減差額



## (2) 拠点別 (同一敷地内)

令和3年4月に柏原市安堂の地に「グループホーム令寿の杜」が開設されて、法人内で介護保険事業を運営する拠点が、5カ所となりました。各拠点の令和3年度1年間の事業活動収入、事業活動費用、事業活動収支差額について、前年度及び一昨年度と比較して表しました。

このグラフを見ると、2年前から続いているコロナ禍等で業績が下落した拠点もあれば、その状況下でも業績を伸ばした拠点もあります。ともあれこの間のコロナ禍は、やはり全体的に法人運営に多大な影響を与えています。加えて人員不足による影響も甚大で、稼働状況の改善を阻んでいます。この2大要因への対応如何が、今後の事業運営のカギになると思われます。

### 【高齢者総合ケアステーション寿光園】

特別養護老人ホーム (定員60名)  
短期入所者介護 (定員13名)  
通所介護「デイ」 (定員18名)  
認知症対応型共同生活介護 (定員9名)  
訪問介護 (ヘルプ)  
ケアプランセンター  
八尾市地域包括支援センター寿光園

### 【高齢者総合ケアセンター柏原寿光園】

特別養護老人ホーム (定員60名)  
短期入所者介護 (定員20名)  
通所介護「デイ」 (定員18名)  
訪問介護 (ヘルプ)  
ケアプランセンター  
住宅型有料老人ホーム (定員18名)

### 【柏原市地域密着型高齢者施設太寿】

特別養護老人ホーム (定員29名)  
短期入所者介護 (定員10名)  
認知症対応型共同生活介護 (定員9名)

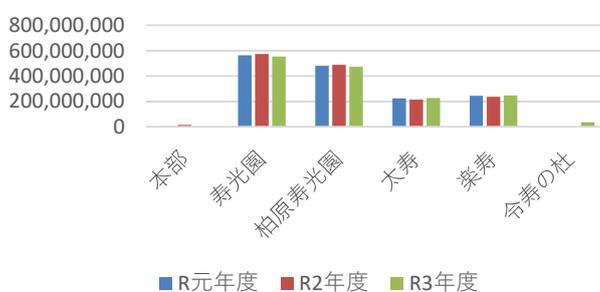
### 【八尾市地域密着型高齢者施設楽寿】

特別養護老人ホーム (定員29名)  
短期入所者介護 (定員10名) (特養のみ)  
通所介護「デイ」 (定員25名)  
八尾市地域包括支援センター楽寿

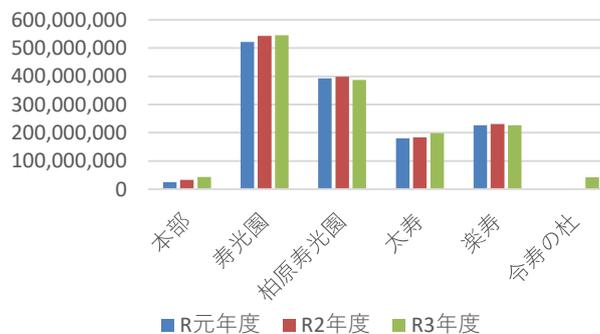
### 【グループホーム令寿の杜】

令和3年4月1日開所  
認知症対応型共同生活介護 (定員18名)

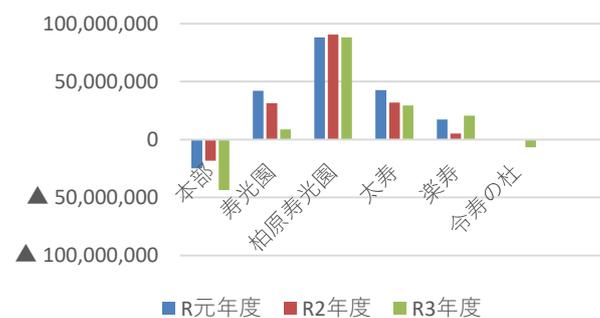
各拠点別活動収益比較



各拠点別活動費用比較



各拠点サービス収支差額比較



### (3) 事業別セグメント

#### 【特別養護老人ホーム】

サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>969,989,190</b>	<b>97,378,147</b>
収益率	10.0%
前期比 100.9%	前期比 104.0%

特別養護老人ホーム事業の収益が、法人全体の収益の64.1%を占めており、法人経営を支えている基幹事業です。

令和3年度は、運営上でコロナ禍の影響がありましたが、稼働状況は安定した状況を維持できた拠点が多く、前年度とほぼ変わらない収益がありました。しかし活動収支差額では拠点毎で大きな差が生じました。

寿光園拠点は前年比7割減、柏寿拠点は前年比1割増、太寿・楽寿拠点でも同2割以上増となっており、特養全体の収支差額の6割以上が柏寿拠点分となりました。

#### 【短期入所生活介護】

サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>144,633,099</b>	<b>6,078,463</b>
収益率	4.2%
前期比 108.5%	前期比 93.1%

短期入所生活介護の収益は、法人全体の収益の9.6%です。

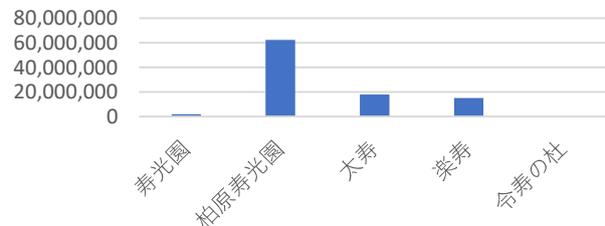
楽寿拠点の短期入所が、職員不足で年間を通じて1割弱の稼働となり収益が上がっていません。職員確保を喫緊の課題と捉え募集に取り組みましたが、外国人スタッフもコロナ禍の影響で採用できませんでした。

寿光園拠点は、コロナ感染症のクラスター発生で2カ月近く稼働中止し、減収となりました。太寿拠点は、年度前半利用者確保に苦戦しましたが、後半回復傾向にあります。柏寿拠点が善戦して、唯一当事業で収支差額のプラスを出して、他の拠点のマイナスをカバーする形になりました。

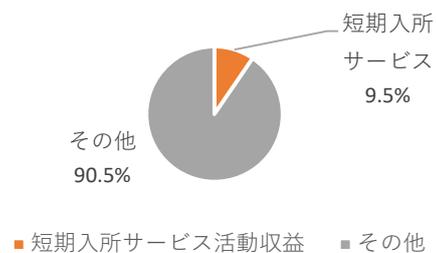
令和3年度（特養）サービス活動収益割合



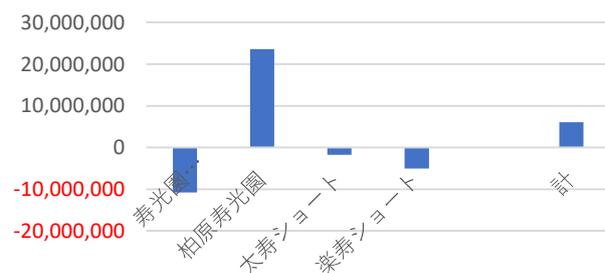
令和3年度拠点別（特養）活動収支差額



令和3年度（短期入所）サービス収益割合



令和3年度短期入所サービス活動収支差額



### 【通所介護（デイ）】

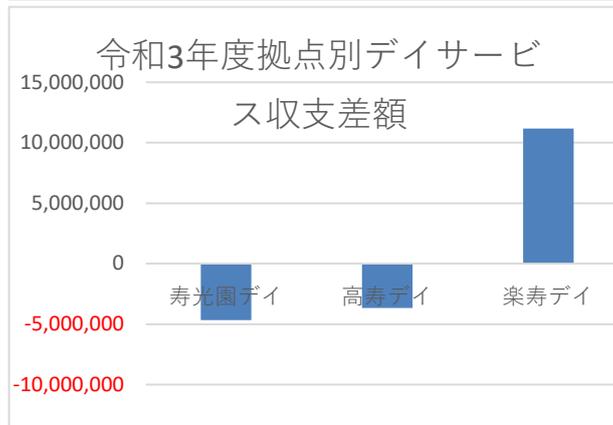
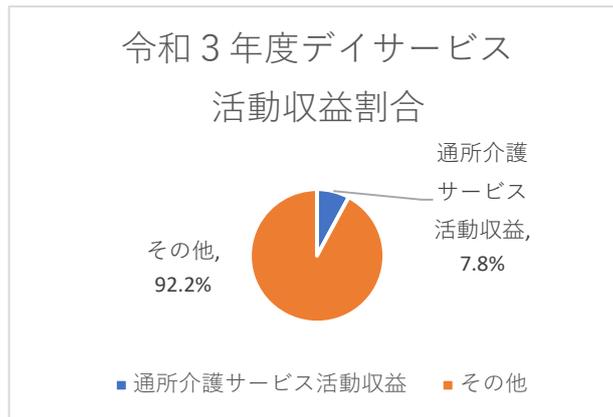
サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>119,877,077</b>	<b>2,843,938</b>
収益率	
2.4%	
前期比 90.2%	前期比 23.7%

通所介護（寿光園・高寿は地域密着型）の収益は、法人全体の収益の7.9%です。

寿光園・高寿のデイは、前年比で2割前後の減収になりました。楽寿のデイは、コロナ禍の影響下でも5%程の増収となり、通所介護全体の収益の53.7%を占めました。

通所介護の年間の平均稼働率が、寿光園・高寿は楽寿の約1/2となっており、これを改善することが、大きな課題となっています。

サービス活動収支差額は、寿光園・高寿のデイがマイナスとなり、楽寿のデイは前年と同様に大きく差額を伸ばして、寿光園・高寿のデイのマイナスを相殺して全体でプラスとなりました。



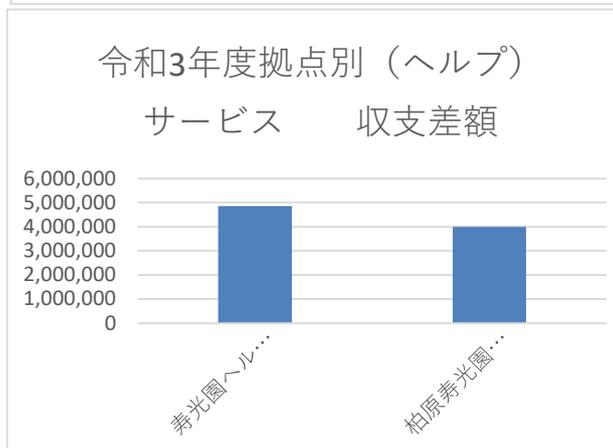
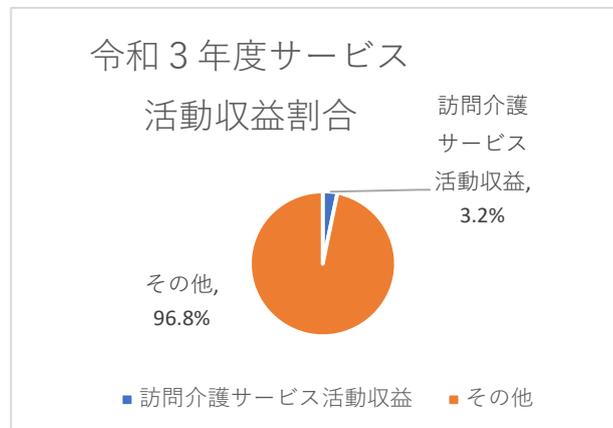
### 【訪問介護（ヘルプ）】

サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>47,373,091</b>	<b>8,855,181</b>
収益率	
18.7%	
前期比 95.2%	前期比 83.8%

訪問介護のサービス活動収益は、法人全体の収益の3.3%です。

訪問介護は、寿光園拠点では1割ほど収益が増えましたが、柏寿拠点ではコロナ禍と職員の高齢化で派遣が減少したことが重なって、収益が2割以上減少しました。

サービス活動収支差額は、寿光園拠点で1割5分程増額し、柏寿拠点では5割近く減少しました。しかし、両拠点とも収支差額はプラスとなっており、収益の上がる事業でありニーズもあることから、柏寿拠点で訪問介護員を確保して、派遣を増やしていくことが大きな課題です。



### 【認知症対応型共同生活介護】

サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>122,735,901</b>	<b>12,581,201</b>
収益率 10.3%	前期比 78.7%
前期比 142.0%	

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）のサービス活動収益は、法人全体の8.1%です。

寿光園拠点・太寿拠点共に、今年度はほぼ100%近い稼働率を保持し、両拠点ほぼ同額程度の活動収益を上げて、前年比でも微増となりました。令寿の杜拠点も加わったために全体の活動収益は、大幅に増額しました。

しかし、サービス活動収支差額では拠点により状況が異なって、寿光園拠点の収支差額は、太寿拠点の収支差額の半額以下となりました。開設初年度となった令寿の杜拠点は、職員の確保が思うに任せず、年度末まで1ユニットしか稼働できずに活動収支差額は、大きくマイナスとなってしまいました。そのため寿光園拠点が令寿の杜拠点の収支差額分を相殺し、太寿拠点の収支差額分が、ほぼ全体の収支差額となりました。

### 【本部・診療所/その他】

サービス活動収益	サービス活動収支差額
<b>133,473,836</b>	<b>-31,083,077</b>
収益率 -23.3%	前期比 -1309.3%
前期比 81.0%	

本部・診療所・その他の事業のサービス活動収益は、各事業で若干の増減はあるものの、ほぼ前年度程度の活動収益が上がっています。

ただ、住宅型有料老人ホーム安寿は3割程、柏原拠点のケアプランは4割近く減収となっています。サービス活動収支差額は、経理上、支出のみ計上されていく本部拠点と、委託事業で収支差額のプラスを計上できない包括支援センター事業のマイナスが大きく影響しており、全体として大きな損益の様子を呈しています。

しかし、活動収支差額でプラスを計上できる事業では、住宅型有料の安寿がマイナスを計上している以外、他の事業は収益を上げています。

今後も、サービス活動収支差額を上げていくことがかなり困難と予測される住宅型有料老人ホーム安寿の在り方が大きな課題です。

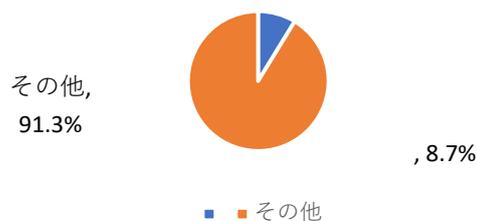
### 令和3年度グループホーム サービス活動収益割合



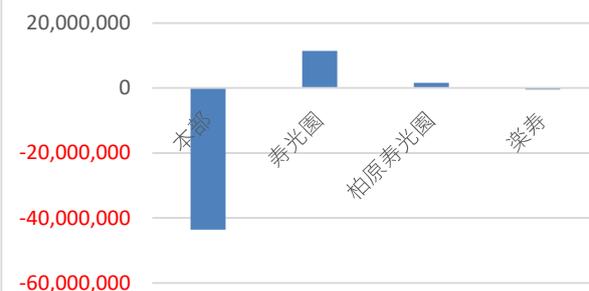
### 令和3年度拠点別（グループホーム）サービス収支差額



### 令和3年度サービス活動収益割合



### 令和3年度拠点別（その他）サービス収支差額



## (4)令和3年度各事業稼働状況一覧表

注：法人内で運営している事業の内、利用定員が設定されている事業のみ表示

拠点名	事業名	事業所名	定員	稼働年 日間 数	利年 用間 者延 数ベ	利月 用平 者均 数	年R 稼働 間3 率平 均度	年R 稼働 間2 率平 均度	前 年 度 比	年 稼 働 率 平 均
寿 光 園	介護老人福祉施設	特別養護老人ホーム 寿光園	60	365	20,667	1,722.3	94.3%	98.6%	-4.3%	
	地域密着型 介護老人福祉施設	地域密着型特養寿光園	16	365	5,686	473.8	97.3%	99.2%	-1.9%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ寿光園	13	365	3,610	300.8	76.0%	78.2%	-2.2%	
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 寿光園	18	305	2,696	224.7	49.1%	55.4%	-6.3%	
	認知症 対応型 生活介護	グループホーム寿光園	9	365	3,257	271.4	99.1%	99.0%	0.1%	
柏 原 寿 光 園	従来型小規模介護 老人福祉施設	特別養護老人ホーム 柏寿	30	365	11,136	928.0	101.7%	96.0%	5.7%	
	ユニット型小規模 介護 老人福祉施設	特別養護老人ホーム 高寿	30	365	10,715	892.9	97.9%	97.2%	0.7%	
	短期入所生活介護	ショートステイ柏寿	10	365	2,599	216.6	71.2%	70.5%	0.7%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ高寿	10	365	2,597	216.4	71.0%	58.8%	12.2%	
	地域密着型 通所介護	デイサービスセンター 高寿	18	311	2,773	231.1	49.7%	65.5%	-15.8%	
	住宅型有料 老人ホーム	住宅型有料老人ホーム 安寿	18	365	3,085	257.1	47.0%	66.7%	-19.7%	
太 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	地域密着型特養太寿	29	365	10,317	859.8	97.5%	95.7%	1.8%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ太寿	10	365	2,054	171.2	56.3%	45.2%	11.1%	
	認知症対応型 生活介護	グループホーム太寿	9	365	3,257	271.4	99.1%	96.0%	3.1%	
楽 寿	地域密着型 介護老人福祉施設	地域密着型特養楽寿	29	365	10,455	871.3	98.7%	96.8%	1.9%	
	短期入所 生活介護	ショートステイ楽寿	10	365	335	27.9	9.2%	2.1%	7.1%	
	通所介護	デイサービスセンター 楽寿	25	310	6,892	574.3	88.9%	85.5%	3.4%	
令 寿	認知症 対応型 生活介護	グループホーム令寿の杜	18	365	2,542	211.8	38.7%	***	***	

## (5) 地域貢献事業

### ●大阪社会貢献事業（生活困窮者レスキュー事業）

対象者（年齢・性別）	住居地	概要	支援内容
50代男性	八尾市	2号みなし被保険者。骨折により入院加療後寝たきりとなり、当座の生活用品等の支援を行う。	生活用品・寝具一式
50代男性	八尾市	独身 ゴミ屋敷 就労長続きせず 就労支援および生活基盤の再構築のための清掃を実施。	清掃作業など
40代女性	八尾市	親子とも療育手帳所持。女性は一般就労続かず。息子はB型作業所、生活困窮状態。	生活保護受給に向けた手続きの支援など。
50代夫婦	八尾市	自宅が火事により全焼。当座の生活物資の支援。	生活用品・ガスコンロ等

### ●柏原民間社会福祉連絡会 地域貢献事業

対象者（年齢・性別）	住居地	概要	支援内容
30代・男性	柏原市	病院受診の為に治療費として支給。今後の支援の方向性を検討するために受診が必要と判断。	10,000円
60代・女性	柏原市	夫が急入院することになり手術が必要であるが、傷病手当金も終了し、収入がないため、当座の生活費支給。	10,000円
20代・女性	柏原市	夫と子供5人暮らし。通院費用として支給。	10,000円
50代・男性	柏原市	生活困窮窓口にて就労支援対象者。就職面接を受けるため、履歴書の証明写真代と交通費等として支給。	10,000円
30代・男性	柏原市	コロナ給付金の支給決定が遅れているため、それまでの生活費として支給。	10,000円
50代・男性	柏原市	母親と二人暮らし。相談日より就業できたが、初任給が約1か月以上ありそれまでの生活費の一部として支給。	10,000円
80代・男性	柏原市	単身高齢者。電気代未払いの為停止され、熱中症リスク高く、早急に復旧する必要があると判断し支給。	10,000円
50代・女性	柏原市	単身。自立支援給付金の振込日および日雇い労働の給与支給日までの生活費として支給。	10,000円
70代・男性	柏原市	頼りにしていた同居人が無収入となり、持病の治療が出来ず、主に治療費として支給。生活保護申請を検討。	10,000円
40代・女性	柏原市	息子2人と同居。離婚し柏原市へ転居、同日生活保護支給申請、当座の生活費として支給。	10,000円
50代・男性	柏原市	単身。自立支援給付金の振込日および日雇い労働の給与支給日までの生活費として支給。	10,000円
50代・男性	柏原市	自営業。電気代の支払として支給。	10,000円
30代・男性	柏原市	単身。年末年始の生活費として支給。	10,000円
50代・女性	柏原市	単身。就労先は決定するも手持ちがないため、初任給までの食事代や通勤費として支給。	10,000円

●こども食堂・学習支援 ●生活困窮者就労訓練事業  実施できず！

※『障害者作業所等の生産物の展示販売』

展示事業者名	主な商品	売上金額
りんごの木	ポーチ他	7000円
風の森	造花・消臭炭	3150円

## (6) トピックス

### 【新型コロナ関係】

新型コロナウイルス感染症に関しては、寿光園において、令和4年1月15日に特養ホームで陽性者が確認され、そして1月23日にはグループホームでも陽性者が確認されて、3月14日の収束を迎えるまでに、利用者25名、職員22名の計47名の大規模なクラスターが発生しました。その他の寿光会の各拠点においては、職員等の陽性者の報告はありましたが、幸いにも入居者の陽性者はなくクラスターの発生もありません。

#### 【令和3年度新型コロナ陽性者状況】

拠点別コロナ陽性人数	本部	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜
利用者陽性者延べ人数	**	25 人	0 人	0 人	0 人	0 人
職員陽性者延べ人数	0 人	22 人	4 人	3 人	2 人	0 人
合計人数	0 人	47 人	4 人	3 人	2 人	0 人

### 【職員誕生祝い金支給状況】

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

	本部	寿光園	柏原寿光園	太寿	楽寿	令寿の杜	法人全体
支給人数	5人	101人	82人	50人	47人	6人	291人
支給額計	120,000	2,510,000	1,790,000	1,165,000	1,110,000	115,000	6,810,000

週30時間以上の勤務者・・・3万円

週10時間以上20時間未満の勤務者・・・1万円

週20時間以上30時間未満の勤務者・・・2万円

週10時間未満の勤務者・・・5千円

## (7) 今後の課題

- 1、2年余りに渡る新型コロナ感染症の大流行により変則的になっている事業の運営状況、つまり入居者の面会・外出制限、感染予防対策の強化による職員の労務負担増や備品・消耗品等の費用負担増大など、コロナ禍前と大きく異なった運営状況を、今後いかに通常の運営状況に戻して行けるのか、あるいは新たな対応を考えていくのか検討が必要となっています。
- 2、全拠点で職員人材の確保が非常に困難になっており、コロナ禍も相まって人員確保の対策として準備を進めていた外国人材の確保も滞り1年間全く機能しなかったものを、国の対策を見ながら何とか早急に受け入れていけるようにすることが喫緊の課題です。
- 3、法人の設立時に建築された寿光園本館で、経年劣化による改修が頻発している問題で、大規模修繕で対応するのか、新たな事業と組み合わせるのか等根本的な対応策を早急に検討していく必要があります。
- 4、人員の配置基準等の制度のしぼりや施設規模の問題もあって、利用者へのサービス提供において、利用者の期待に十分応えきれないこともあり、開設から今日に至るまで稼働状況が思うに任せない状態の本事業を、そのまま継続するのか、別の事業に転換するのか、または本施設を別の目的に利用する目的変更を考えるのかなど、早急に検討が必要です。
- 5、令和3年度から1年遅れて実施することとなっている施設長定期異動のシステムを確実に実施し、そのシステムをスムーズに定着させていけるように連携方法等を検証しつつ、法人全体のガバナンスの強化と、運営の透明性を確保していく必要があります。

## (8) 職員構成状況

※令和4年3月31日現在

※職員人数は、**令和3年度1年間の勤務時間数**を常勤換算(注)して算出した人数。

(注)常勤換算は、「172時間/月」として算出)

※派遣職員、委託業者職員等も、職員人数(実数・常勤換算数)に計上する。

※「入職者数」「退職者数」は**令和3年4月1日～令和4年3月31日**までの合計。

### 1、月平均在職職員数

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
月平均職員数 (実人数)	5.1人	101.6人	93.6人	50.3人	47.5人	13.7人	311.8人
月平均職員数 (常勤換算人数)	3.6人	83人	63.8人	35.5人	33.2人	8.6人	227.7人

※人数には委託の職員数も含む

※常勤換算は、実人数の総勤務時間数を172時間で除したもの＝常勤換算人数

(この場合、正規職員は有休を含み、契約・非常勤職員は有給休暇を含まない)

### 2、入退職数と離職率

期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日まで

	本部	寿光園	柏原寿光園	太 寿	楽 寿	令寿の杜	法人全体
入職者数 (実人数)	1人	4人	9人	2人	15人	26人	58人
退職者数 (実人数)	1人	8人	14人	1人	14人	10人	47人
離職率	20%	7.40%	14.4%	1.9%	9.8%	***	***

※人数には委託の職員は含まない

※離職率の算出法：起算日(年度初めの日4/1)から1年間の離職者数÷起算日における在職者数×100

(この場合、1年間の間に新規採用した人数は含まない)注)令寿の杜は本年度開設で、離職率は表示せず。

参照：令和2年度『介護労働実態調査』結果によれば、2020年には過去最低となる14.9%であった。

### 3、職員の平均年齢と平均在職期間

令和4年3月31日現在に在職する者

	本部		寿光園		柏原寿光園		太 寿		楽 寿		令寿の杜		法人全体	
職員平均年齢	49歳1ヶ月		50歳11ヶ月		49歳5ヶ月		50歳5ヶ月		50歳9ヶ月		42歳0ヶ月		49歳10ヶ月	
職員平均 在職期間	6年5ヶ月		12年3ヶ月		7年11ヶ月		9年0ヶ月		7年3ヶ月		1年10ヶ月		9年10ヶ月	
男女比率	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	60.0%	40.0%	23.1%	76.9%	17.4%	82.6%	9.3%	90.7%	30.2%	69.8%	58.8%	41.2%	22.2%	77.8%
介護職比率	***		79.8%		80.4%		90.7%		58.5%		94.1%		79.1%	

※委託・派遣の職員は含まない